

## 施設マネジメント室（平成 17 年度第 3 回）議事要旨

1. 日 時：平成 17 年 7 月 21 日（木） 午前 10 時 30 分～午後 11 時 25 分
2. 場 所：事務局 2 階小会議室 1
3. 出席者：望月事務局長，石井哲士朗（外国語学部），水野善文（外国語学部），  
豊島正之（A A 研），宮城徹（留日セ），  
清水施設課長，宮本施設課課長補佐 以上 7 名

### 4. 報告事項

議事に先立ち、前回議事要旨（平成 17 年 6 月 15 日開催）は事前にメール配信がなされ、異論がなかった事が確認された。

#### (1) 平成 18 年度概算要求について

望月室長より、7 月 7 日（木）文部科学省に於いて、施設整備費のヒアリングが行われたと報告があった。

続いて清水施設課長より、第 1 回施設マネジメント室で、概算要求の取扱いについては役員会一任で了承されたが、要求事業等については、後日施設マネジメント室に報告することとなっていた。本学からは、『総合情報コラボレーションセンター』（卓越－卓越） R2 1,340m<sup>2</sup> を要求した。

要求理由は、次の通り。

(ア) 学内で進められている各研究・教育プロジェクトの推進

(イ) 一元化・集中化により効率化を図る

(ウ) 機能向上を図る機器の設置場所確保

(エ) 情報セキュリティの確立

今後のスケジュールは、文部科学省に於いて内容審査・第三者評価を経て、優先順位上位の事項が、8 月 31 日財務省へ要求書が提出されると、説明があった。

望月室長より、施設整備費は財政が逼迫しており、特殊事情がない限り予算化は困難と説明があった。

#### (2) 戸田合宿研修所増築について

望月室長より、東京外語艇友会より学長宛、ボート部に女子学生が増え、そのための対策として、並びに本学に関係する学生の課外活動等に寄与する施設として、当該合宿研修所を南側へ増築したいとの要望が出されたこと。東京外語艇友会は去年から寄付を募り、集まった分を既に大学へ寄附されていることもあり、また今年度も新たな寄附金額の目標を立て寄附を募っている状況で、本年度中に

この範囲で建物を寄附する案が検討されていると、報告があった。

続いて清水施設課長より、東京外語艇友会の要望を満たす増築計画の一例を平面図にまとめていること。この様な案となるか否かは、未だ不明であると説明があった。

また、寄附の形については物納になるか寄附金で本学が施工することになるかも含めて、現在東京外語艇友会が検討を進めていると、説明があった。

宮城委員より、大学の敷地内にたてるのだから、寄附と言っても大学全体に寄与せねばならないと、発言があり、望月室長より東京外語艇友会に対しその旨伝えたと発言された。

水野委員からは、東京外語艇友会の意向に反し、ボート部がボート部のために増築が行われたと思いきまないう、指導をするべきだとの意見も出された。

### (3) 中期計画について

望月室長より、平成 17 年度で実施を約束している中期計画に関し、施設マネジメント室で検討せねばならないことについて、案内があり、引き続き宮本施設課課長補佐から、資料にもとづき説明があった。

説明後、宮城委員より中期計画の年度内実施が困難となった場合の変更の可否について質問があり、望月局長より既に中期計画として提出済みであるので、中期計画の変更を行う必要があるとの説明があった。

また、危機管理体制のところで、各組織で災害対策マニュアルを作成する必要があるかの質問が出され、望月室長より必要があると返事が出された。それについて清水施設課長より、各組織に資料提供等協力するとの申し出があった。

また、豊島委員から職員の意識改革のためにも、災害対策本部の常設の必要性についての意見が出された。

## 5. 審議事項

### (1) 構内駐車場の整備について

望月室長より、宮城委員と施設課で検討することとなっていたが、留学生日本語教育センターでも検討したと聞いていることから、まず留学生日本語教育センターでの検討結果について、宮城委員にその内容を発表して頂きたいと依頼があった。

宮城委員からの発表の骨子は、次の通り。

- 実態調査したところ、留学生日本語教育センター関係者は、図面の P4 と P9 に駐車している。

- P4 は、大学会館物品搬入業者も駐車する。
- 特に木曜日は、非常勤講師が来学される方が多数なので、駐車場が足りず、非常勤講師から何処に駐車すればよいのかと聞かれ、苦慮している。

続いて清水施設課長から、縦列駐車とポケットパークを駐車場にする案が説明された。

望月室長より、駐輪対策も含め大学全体の問題として対応すべきと提案があり、了承された。また、望月室長から、ポケットパークは消火活動区域に隣接していることから、駐車場整備の候補地として問題が残らないかと発言があり、施設課で再検討することとした。

## (2) その他

### ● 災害対策マニュアルについて

宮城委員より、災害対策マニュアルは決定したのか、また有しているのは誰なのかについて質問があり、既に決定済みであり、消防署へ最終確認をしているところなので8月中には全学へ公開をしたいとの説明があった。

豊島委員より、書かれている内容に付加業務部分があるので、過半数代表者へ事前に説明する必要があると、指摘があった。

水野委員より、先日開催された外国語学部教授会の席上で、馬場学部長より美術品の寄贈及びハトのフン対策についての議案説明があったが、本日の施設マネジメント室では本件について何の説明もされなかったが、その理由は何故かと質問があり、清水施設課長より、それぞれの議案について次のような説明があった。

### ● 美術品の寄贈について

- (ア) 寄贈の申込者が研究講義棟7階のラウンジに展示することを希望
- (イ) 研究講義棟で了解せねば、施設マネジメント室で審議しても意味ない
- (ウ) 馬場部長には、7階に限らず研究講義棟へ受け入れるか否かも含め、検討して頂きたいと依頼した

### ● 鳩の糞対策について

- (ア) 以前はバルコニーの清掃を、定期的に行っていたが、教官研究室の外を見知らぬ人が作業することに、苦情が出て中止した経緯がある。
- (イ) 鳩の糞対策について、清掃を実施せよとの要請が一部教官から出されたが、前述の意向と矛盾する。
- (ウ) 研究講義棟を管理する側で、意志決定して頂きたいと申し込んだ。

建物の管理のあり方について議論がなされたが、結論は出なかった。

いずれの件についても、施設マネジメント室構成員が何も知らないところで急に議題が出され、大変面食らってしまったので、今後は各室員へ事前に何らかの情報提供をしてもらいたいと水野委員より要請があったため、今後メール等で連絡することとした。

(3) 次回施設マネジメント室開催日程（案）について

望月室長より、次回の施設マネジメント室の開催は、9 月下旬を予定しているとの連絡があり、また時期を見てメールで調整することとした。

以上